

泉 佐 野 市

「いずみさの教育文化運動」
育てよう子どもの力、つくろう泉佐野の豊かな明日
～輝くひとみ あふれる笑顔～

泉佐野市では、平成21年度より、市立幼稚園・小学校・中学校、全22校園が一丸となって、「いずみさの教育文化運動」に取り組んでいます。

学力向上プロジェクトチーム

平成20年11月、幼稚園長、小・中学校長、指導主事で組織する「学力向上プロジェクトチーム」を立ち上げました。

本市の子どもたちの学力向上に向けた取組みを推進していくにあたり、学校・園での授業・保育研究が基礎となることはいうまでもありませんし、これまでも、それぞれの学校・園において取り組んできました。しかし、今後は、それらの取組みを基本としながらも、学校・園を越えた総合的な研究を進めることが重要であると考えたからです。

子どもたちの学力向上は、個々の文化の創造を束ねながら、より豊かな泉佐野市の教育文化の創造をめざすことによって、はじめて可能になるものです。

また、学校・園における教職員の授業力や指導力の高まり、さらに、それを支える力として、家庭・地域・社会の教育力が不可欠です。

本チームでは、本市教育の現状や課題等について論議を重ね、「いずみさの教育文化運動」の柱として「5つの提案」を行いました。また、子どもたちの学力向上にむけて、教職員以外の方々にも積極的に働きかけ、新しい、そして豊かな教育文化の創造をめざしたいと考え、広く保護者や市民の方々にも呼びかけています。

5つの提案

【提案1】「学力を支える4つの力」の醸成

◎文化力の向上
芸術活動やスポーツを楽しむ子ども
地域を愛し、大切にする子ども

◎学び力の向上
真剣に学習に取り組む子ども
将来に夢と希望を持つ子ども

◎人間力の向上
自分を愛し、仲間を大切にする子ども
人とつながる喜びを感じられる子ども

◎教育力の向上
保護者に信頼され、地域に愛される学校園
ともに子どもを見守り、育てる家庭、地域

【提案2】「授業・保育づくりの共通テーマ」の設定

『支えあい・学びあい・響きあい』

幼稚園、小学校、中学校の校種に共通のテーマとして設定しました。

【提案3】「授業・保育づくり研究グループ」の立ち上げ

市立全22校園から推薦された教員が、中学校区



ごとにグループをつくり、研究授業・保育を中心に実践や研究、交流に取り組んでいます。校種を越えた教員の意見や実践交流から大きな成果がうまれつつあります。

【提案4】「人間関係づくりの研究」の推進

これまで各学校・園で実施してきた実践に加え、全市的に取り組む「セカンドステップ」を導入し、全22校園一斉に取組みを開始しました。



【提案5】「泉佐野市教育フォーラム」の開催

学力向上プロジェクトチーム

泉佐野市学校教育研究会

泉佐野市PTA連絡協議会

泉佐野市教育委員会

の4つの組織が協力し、講演会やこれまでの取組み等の発表の場として開催しています。



セカンドステップの導入

セカンドステップは、子どもたちが社会で穏やかに育ち、真にいきいきと生活するために開発されたプログラムです。

セカンドステップを実践することで、子どもたちの衝動的・攻撃的行動をやわらげ、社会への適応力

を高めることができます。

実践する時に以下の3点のことを大切にしています。

- ① 共感するだけでなく自分の気持ちを伝える力もつけること
- ② 問題の解決方法を整理し、自分自身で筋道をたてて、実際の行動に移すこと
- ③ 怒りの感情をただ我慢するのではなく、適切に怒りの感情を表現し、建設的な解決を図ること

学校支援コーディネーター

「いじめ問題」や緊急に対処しなければならない事案や事象に対し、当該学校・園や教育委員会、関係諸機関と「危機管理チーム」を組織し、迅速かつ適切に対処するとともに、これまでの現場での経験をいかし、多面的、機能的に学校・園を支援する中心的存在です。

学力支援コーディネーター

「学力向上プロジェクトチーム」の中心的存在として、市域全体の学力向上や学校・園の研究をさらに進めるにあたっての指導や助言、教育関係諸機関・諸団体とのコーディネート等の役割を担っています。

おわりに

泉佐野市では、子どもたちの力を育て、泉佐野の豊かな明日をつくるため、子どもたちのひとみが輝き、笑顔があふれる学校・園の創造に向かって、「いずみさの教育文化運動」をこれからも進めてまいります。すべては、子どもたちのために。

問合せ

泉佐野市教育委員会

学校教育課 学校教育課

T E L : 072-463-1212 (内線2301)

F A X : 072-469-5267

e-mail : g-kyouiku@city.izumisano.lg.jp